

令和2年度

予算の概要



「コウヨウ」西谷内章

ART BRUT

～生の芸術 アール・ブリュット～

フランスの画家ジャン・デュビュッフェにより生み出された概念で、「正規の美術教育を受けていない人による生(き)の芸術」を意味します

令和2(2020)年3月
岩見沢市

目次

I. 重点分野の取組み 総合戦略関連予算	1~17 18
II. 予算のポイント	
1. 予算規模	19
2. 一般会計予算の概要	20
3. 扶助費・建設費	21
4. 市債・基金の状況	22
5. 財政健全化指標	23
III. 主要・新規の事務事業	24~45
(参考) 令和2年第1回定例会補正予算の概要	46

注1： この資料中の金額は、原則として各計数ごとの四捨五入で表示しています。したがって、文中及び各表中の数値・比率とその内訳の累計値とは単位の相違等により一致しない場合があります。

表紙の作品は社会福祉法人クピド・フェアの
西谷内章さんが製作したものです。

人と緑とまちがつながり ともに育み未来をつくる 健康経営都市

令和2年度予算 重点分野の取組み

市民生活の質の向上

地域経済の活性化

防災・防犯・地域コミュニティ
地域で支え合う 安全・安心なまち

健康・福祉・医療
みんなが健康で元気に暮らせるまち

産業経済・交流
活力と賑わいに満ちた 魅力あふれるまち

子ども・子育て・教育・文化
豊かな心と生きる力をはぐくむまち

都市基盤・環境
自然と調和した快適で暮らしやすいまち

市民参画・行財政運営
市民とともに創る持続可能で自立したまち





令和2年度予算のポイント

防災対策事業 地域防災力の向上 被災者生活再建システムの導入



災害により生活基盤に著しい被害を受けた住民が早期に生活再建をすすめることができるように、罹災証明の発行を速やかに行うためのシステムを導入します。

総務部防災対策室

除排雪事業、高齢者・障がい者の冬の暮らし支援事業 総合的な雪対策の推進 冬の暮らしの安全・安心の確保



全庁体制で「総合的な雪対策」に取り組んでおり、道路除排雪に加え、福祉施策とも連携して、豪雪パトロールや情報提供、町会等が実施する除雪ボランティアへの支援、高齢者世帯等の雪下ろしや間口除雪、定期排雪の費用の助成など、冬の暮らしの安全・安心の確保・向上を図ります。

健康福祉部高齢介護課
建設部土木課

消防車両整備事業 消防・救急体制の充実 消防車両の整備



岩見沢地区消防事務組合では、さまざまな災害に対応するため、消防車両や資機材の計画的な整備・更新をしています。令和2年度は、「資機材搬送車」を整備します。

消防事務組合

栗沢文化交流施設整備事業 地域コミュニティの活性化 文化交流施設の建設 (避難所機能も充実)



令和3年1月の供用開始（予定）に向けて、栗沢文化交流施設の整備に向けた建設工事を行います。ホールや会議室、市民活動室などを備える新しい文化交流施設には、災害時の拠点避難所としての使用も想定し、非常用自家発電設備等の設置を予定しています。

栗沢支所総務課



初めてとなる記録的短時間大雨情報の発表

日時 令和元年8月31日
雨量 1時間あたり94.5mm（観測史上最大を記録）

記録的短時間大雨情報とは？

気象庁が数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨を、観測・解析をしたときに発表するもの。



「安全・安心」は、まちづくりの基本となるものです。

災害の発生に備えた地域防災力の向上を図るとともに、冬期間の安全確保や消防・救急体制の充実、防犯・交通安全対策・消費者保護など、市民が安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます。

また、地域のつながりや支え合い、主体的なまちづくり活動に対する支援や男女共同参画社会の実現に向けた環境整備を進めます。

地域防災力の向上

- **防災対策事業** 総 拡充 **3,972万円**
防災訓練や出前講座、防災備蓄品の計画的な整備
- **災害応急対策事業** **5,000万円**
風水害、地震、雪害など、災害時の緊急的な対応
- **北村地区地域再編推進事業** **664万円**
遊水地事業の円滑な推進のための地域再編等

安全・安心な生活環境の確保

- **交通安全対策事業** **1,521万円**
交通指導員等による交通安全指導や啓発活動を実施
- **町会等管理街路灯維持支援事業** **2,015万円**
町会等が管理する街路灯の設置や維持経費を支援
- **消費生活安定向上事業** **639万円**
消費者センターを核として消費者被害の防止を推進

総合的な雪対策の推進

- **高齢者・障がい者の冬のくらし支援事業** 総 **4,109万円**
高齢者世帯等の雪下ろしや間口除雪等の費用を助成
- **除排雪事業** **14億3,230万円**
地域や事業者との連携により、総合的な雪対策を推進

地域コミュニティの活性化

- **市民参画・協働のまちづくり推進事業** **1,204万円**
地域コミュニティの活性化に対する支援
- **栗沢文化交流施設整備事業** **7億8,000万円**
栗沢文化交流施設の整備に向けた建設工事

消防・救急体制の充実

- **消防車両整備事業** **3,180万円**
消防車両を年次計画で更新し、消防力を強化

男女共同参画社会の実現

- **男女共同参画社会推進事業** **307万円**
講演会や情報誌発行のほか、第3次計画を策定



【岩見沢市まちづくり基本条例第3条 基本理念】

市民、議会及び市長等は、それぞれ役割を果たしながら、情報共有、参加及び協働のもと、自立した地域社会を実現する、市民主体による自主自立のまちづくりを基本理念とします。

● みんなが健康で 元気に暮らせるまち

予算のポイント



令和2年度予算のポイント

健康寿命延伸事業ほか

健康づくりの推進

各種健診等の充実



市民の健康づくり拠点である「いわみざわ健康ひろば」等で、各種健康診査等を実施します。道内トップレベルの低料金でがん検診を受けることができ、WEB予約や協会けんぽとの連携、あいのりバスツアー健診、働き盛り世代等のための早朝健診など、受診しやすい環境づくりにも、積極的に取り組んでいます。

健康福祉部健康づくり推進課

健康経営都市推進事業

健康づくりの推進

健康経営都市の推進

生活・健康づくりサービスの提供基盤の構築や、農・食・健康を連動させた新しい健康関連産業の創出など、北大COIと連携し、産学官金が一体となって、市民の健康を支える「健康コミュニティ」を推進します。新たに岩見沢市版「健康白書」の作成や健康づくりの絵本の制作、健康予報やげんき発見ドックの拡充、未病への取り組みなど、健康経営都市を推進します。



健康福祉部健康づくり推進課

共生のまちづくり推進事業

障がい者福祉の充実

障がい者等の災害対策支援



災害時に備え、在宅で医療機器を使用する障がい者等へ発電機や蓄電池等の非常用電源装置の購入費用を助成します。

健康福祉部福祉課

新市立総合病院建設事業ほか

地域医療体制の充実

地域医療の充実に向けて



質の高い医療サービスを提供するため、医療機器を計画的に整備・更新するとともに、地域センター病院として良質で安全・安心な医療を提供するため、新病院の建設に向けた準備を進めます。

市立病院事務部管理課

市民の健康づくり拠点「いわみざわ健康ひろば」



岩見沢市3条西4丁目1 第2ポルタビル1階
開館時間 10:00~17:00 (日・祝・年末年始休館)
電話 0126-35-5138

- 毎日 血圧・体組成・血管年齢・骨健康度・肌年齢の測定。
- 火曜日 健康チェックの日。測定や保健師などによる健康相談。
- 水曜日 シニアのための介護予防体操教室と保健師等による講話。
- 木曜日 北大COIの日。乳幼児健康測定や健康講座など。
- 月1回 フードデイ。地元食材を使った健康メニューの紹介や試食。

いずれも無料

※食材費等の実費相当分をご負担いただく場合があります。



北海道大学COI

COI（センター・オブ・イノベーション）とは、文部科学省・科学振興機構が実施している研究開発支援プログラムです。北海道大学COIは、「食と健康の達人」をテーマに、「美味しい食と楽しい運動」で健康で笑顔あふれる幸せな生活を実現するため、北海道大学を中心に30社以上の企業によるプロジェクトです。自治体では岩見沢市のみを実証フィールドとして、研究開発に取り組んでいます。

市民一人ひとりが生きがいをもって元気で健康に暮らすことができれば、まち全体が元気になります。誰もがいつまでも健やかで生き生きと暮らすことができるよう、市民の健康づくりや高齢者・障がい者福祉、地域医療の充実に努め、地域全体で市民の元気で健康な生活を支える「健康コミュニティ」を推進します。

健康づくりの推進

- **保健総務管理事業** 拡充 1,606万円
「いわみざわ健康ひろば」を拠点とした健康づくり
- **健康寿命延伸事業** 拡充 7,927万円
健康相談や健康教室など健康寿命の延伸を目指す
- **健康経営都市推進事業** 総 拡充 2,648万円
産学官金の連携による健康コミュニティを推進
- **疾病予防推進事業** 拡充 1億8,246万円
検診や予防接種を実施し、感染症の発生・蔓延を予防

高齢者福祉の充実

- **高齢者・障がい者の見守り支援事業** 618万円
緊急時の消防への通報や現場かけつけ、健康相談を実施
- **介護サービス利用者負担軽減事業** 1,140万円
低所得者の介護サービスの利用者負担の一部軽減
- **市民後見推進事業** 165万円
成年後見制度の周知や市民後見人の養成

- **高齢者のげんきづくり** 拡充
支援事業 2,163万円
高齢者の「げんきづくり」につながる事業に対する支援
- **長寿祝金事業** 262万円
白寿を迎える方を対象に、3万円及び祝状を贈呈
- **地域支援事業** 拡充 5億7,804万円
地域で暮らす高齢者への地域包括ケアシステムの構築

障がい者福祉の充実

- **障害者自立支援給付事業** 30億9,517万円
障害福祉サービスや医療費の助成、障がい児の通所支援
- **共生のまちづくり** 総 拡充
推進事業 1億6,481万円
障がい者等の支援や芸術祭、共生のまちづくり構想の調査

岩見沢アール・ブリュット芸術祭2019



地域福祉の推進

- **社会福祉協議会運営補助事業** 6,244万円
社会福祉協議会の安定的な運営と事業の充実を支援
- **民生委員児童委員協議会
運営費交付等事業** 2,470万円
地域福祉の推進を担う、民生委員・児童委員の活動を支援

地域医療体制の充実

- **医療機械器具等整備事業** 1億5,942万円
循環器用超音波画像診断装置や温冷配膳車の整備更新
- **新市立総合病院建設事業** 2,700万円
新病院建設に向けた基本計画の策定

社会保障制度の適正な運営

- **生活困窮者自立促進支援事業** 2,556万円
生活困窮者の相談受付や自立支援等、学習支援を実施
- **生活保護運営事業** 3,691万円
生活習慣病の重症化予防等のための健康管理支援を実施
- **特定健康診査等事業** 6,296万円
生活習慣病の予防、早期発見のため、特定健康診査を実施
- **保健衛生普及事業** 4,120万円
人間ドック・脳ドックの助成、がん検診（無料）を実施
- **データヘルス事業** 1,765万円
糖尿病等の重症化予防、多受診者の保健指導等を実施



まもる健康
つくる健康
つなぐ健康



ささえる福祉
つながる福祉
さんかする福祉



令和2年度予算のポイント

ICT農業普及促進事業 農林業の振興

スマート農業の普及促進



「スマート農業加速化実証プロジェクト」など先行的な取り組み成果の社会実装に向け、技術研修などの普及啓発活動やドローンなど新技術導入に関する導入効果・経済分析等を実施します。

農政部農務課

プレミアム付建設券発行支援事業 商工業の振興と中心市街地の活性化

プレミアム付建設券



市内建設業の受注機会確保や市内で持家に居住する世帯の定住促進を図るため、自主的に「プレミアム付建設券」を発行する経済団体、建設業団体等に対し、事業費の一部を支援します。

経済部商工労政課

創業支援事業 商工業の振興と中心市街地の活性化

創業支援



市内経済団体、金融機関、関係創業支援機関等との連携により、創業希望者に対して、窓口相談、創業塾、融資相談等による創業支援を実施します。

- ・創業塾
 - 6月、7月：4日間（定員15名）
 - 1月、2月：4日間（定員15名）

経済部商工労政課

北村温泉施設整備事業 地域資源を活かした観光の振興

北村温泉施設の大規模改修



大規模改修を実施し、老朽化設備の更新とともに温泉の魅力向上及び近隣温泉との競争力を高め、地域住民の更なる利用促進、また観光客の増加及び収益の向上を目指します。

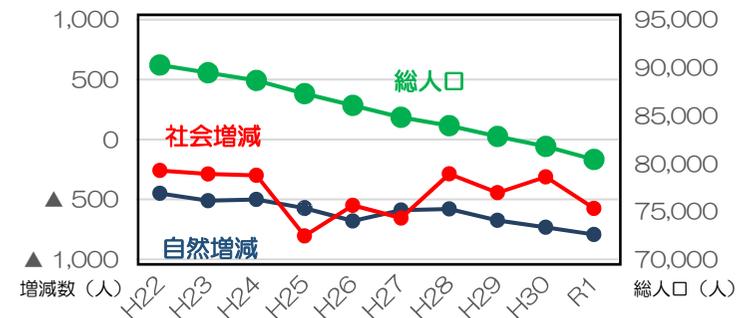
経済部観光物産振興課

岩見沢市の人口社会動態（転入・転出）

右のグラフは、平成22年から令和元年までの各年12月末の総人口と、1年間の自然動態（出生と死亡）、社会動態（転入と転出）の推移を表したものです。

自然動態、社会動態ともに差引はマイナスで推移しており、人口減少の抑制に向けて平成28年1月より「岩見沢市総合戦略」を策定し、雇用や子育て、移住・定住などの施策に取り組んでいます。

社会動態では平成30年には改善が見られたものの、令和元年では転出超過が拡大しています。



人口減少の克服には、経済の活性化や定住・交流人口の増加による地域の活力の創出が不可欠です。関係団体や事業者とも連携し、農業・商工業の振興を図るとともに、新産業の創出や企業立地を推進し、雇用の拡大に努めます。また、観光の振興や中心市街地の活性化を通じた賑わいの創出を図るとともに、移住・定住の促進に向けた多様な施策を展開します。

農林業の振興

- 担い手・農業法人等育成支援事業 803万円
暗さよ整備への支援や農地の集積に対する支援
- 新規就農・農業後継者育成支援事業 1,775万円
新規就農者に対する各種支援による育成・確保 総 拡充
- 地産地消等所得向上対策事業 729万円
消費者へのPR、販路拡大による農業者の所得向上を図る
- 産地づくり推進事業 2,456万円
収量・品質が低下している玉葱の生産改善に向けた取組み
- ICT農業普及促進事業 650万円 総
スマート農業の社会実装に向けた実証・経済評価等の実施
- 地域産業協働促進事業 300万円 総
企業と連携した新規農産物の導入や試験栽培等の取組支援
- 鳥獣対策事業 1,680万円
鳥獣等の捕獲・駆除の実施や侵入防止柵等の対策を推進
- 土地基盤整備事業 7,574万円
基幹的排水路の施工等を進め、農業経営の安定を図る

- 国営造成施設管理体制整備促進事業 8,122万円
農業水利施設等の維持・補修を支援
- 多面的機能支払・環境保全向上対策事業 6億8,744万円
環境負荷低減と環境保全効果の高い営農活動を支援
- 用排水施設維持管理事業 5億4,575万円
農業用排水路及び排水機場の維持管理
- 林業振興事業 2,641万円 拡充
森林の持つ公益機能の発揮と森林資源の循環を促進

商工業の振興と中心市街地の活性化

- 商工金融円滑化事業 17億7,546万円
中小企業の円滑な資金調達に資する融資制度
- 創業支援事業 1,250万円 総
創業希望者に対する相談・創業塾・融資相談等の支援
- プレミアム付建設券発行支援事業 6,500万円 総
経済団体等が自主的に行うプレミアム付建設券発行を支援

● **中心市街地活性化対策事業** 総 3,497万円
イベント事業や魅力ある商店街づくりに向けた支援

● **ポルタビル利用促進事業** 1億3,486万円
施設の安全性や利便性向上、長寿命化に向けた工事等

新産業の創出と企業立地の推進

● **新産業創出促進事業・企業立地推進事業** 総 1,726万円
地域の特性を活かして行う事業や新規創業者への支援

雇用の拡大と就業環境の充実

● **職業能力向上事業** 総 1,074万円
中小企業が雇用する労働者の職業訓練の実施、育成支援

地域資源を活かした観光の振興

● **観光振興戦略推進事業** 総 1,390万円
観光協会への支援、観光プロモーションの強化

● **ふるさと毛陽地域振興事業** 総 5,632万円
メープルロッジの充実、アクティビティの整備

● **北村温泉施設整備事業** 総 新規 5億円
施設の大規模改修及び温泉の魅力向上、利用促進

移住・定住の促進

● **シティプロモーション推進事業** 総 1,400万円
ラジオを中心とした情報発信により、居留意欲の向上を図る

● **地域おこし推進事業** 524万円
「地域おこし推進員」を配置し、地域活動を展開

● **移住定住促進事業** 総 4,126万円
住宅購入の支援や体験住宅など移住の促進を図る

国際・地域間交流の推進

● **国際交流推進事業** 732万円
姉妹都市への訪問団派遣や国際交流員（CIR）の招致





令和2年度予算のポイント

保育・教育人材確保事業 **子ども・子育て支援の充実**
保育士・幼稚園教諭の確保



岩見沢市への就職をすすめるため、新規学卒者の保育士・幼稚園教諭に対して就職準備金を支給し、人材の確保と幼児教育・保育の質の維持向上を図ります。

教育部子ども課

児童厚生施設運営事業 **子ども・子育て支援の充実**
放課後児童クラブの早朝時間の開所



児童館等に設置している放課後児童クラブについて、8時30分からの受入時間を土曜日、長期休業期間に限り、1時間早め、保護者の仕事と子育ての両立を支援します。

教育部子ども課

学力向上対策事業ほか **学校教育の充実**
確かな学力の定着



中学生を対象とした土曜・英検学習会、小学生を対象とした土曜キッズ英会話などを開催するとともに、ICTや外国語指導助手を有効に活用し、子どもたちへの確かな学力の定着を図ります。

教育部指導室

教育大学連携事業 **芸術文化・スポーツの振興**
学生と市民との交流機会の拡大



有明交流プラザ内の「i-BOX」の運営をはじめ、美術展やコンサート、スポーツ交流などを通じた市民レベルでの交流を推進するとともに、学生と市民の関わりを深め、まちの活性化につなげます。

企画財政部企画室



子育てするなら…岩見沢市の子育て支援

岩見沢市では、国や道などの標準的な制度を市独自に拡大するなどにより、子育て支援の充実を図っています。岩見沢市の主な子育て支援の取り組みを紹介します。

こども・子育てひろば「えみふる」

教育や保健、福祉、交流など、各種の支援機能をまちなかに集約した子ども・子育ての拠点。

保育料の負担軽減

所得状況に応じて保育料を減額細分化するほか、一定の要件のもと、第2子以降の保育料を無料化。

障害児通所支援利用者負担無料化

早期療育推進の観点から、児童発達支援や放課後等デイなど、障害児通所支援の利用者負担を無料化。

不妊・不育症治療費助成

不妊治療や不育症治療を受けているご夫婦に、北海道の助成に加え、市独自に支援（所得制限あり）。

子どもの医療費の負担軽減

入院は中学校3年生まで、通院は小学校6年生までの医療費の負担を軽減（所得制限あり）。

移住者住宅購入子育て世帯加算

移住者を対象とした住宅購入費用の一部助成について、子育て世帯の場合、助成額に10万円を加算。

あそびの広場・ひなたっ子

「えみふる」に、親子で交流できる「ひなたっ子」、屋内型のあそび場「あそびの広場」を開設。

児童見守りシステム（ICタグ）

児童の登下校情報や緊急性の高い情報を保護者にメールで知らせるサービス。

安心して子どもを産み育てることができる環境のもと、地域全体で子どもの健やかな成長を支えるとともに、未来を担う子どもたちの豊かな心と優れた知性、生きる力を育む社会を創ります。

市民一人ひとりが健康で心豊かな人生を過ごすことができるよう、生涯学習の充実や、芸術文化・スポーツに親しむことのできる環境づくりを進めます。



子ども・子育て支援の充実

- **子どもの医療助成事業** 総 2億1,519万円
乳幼児と小・中学生の医療費に対する助成
- **ひとり親家庭支援事業** 1,710万円
ひとり親家庭に対する経済的自立の支援
- **子ども・子育て支援事業** 総 1,157万円
子ども・子育てプランに基づく子育て支援事業を実施
- **保育・教育人材確保事業** 総 新規 300万円
保育士、幼稚園教諭の人材確保による保育環境の維持向上
- **子育て総合支援センター事業** 総 1,981万円
子育て総合支援センターを拠点とした相談、各種支援を実施
- **あそびの広場運営事業** 総 3,205万円
安心して子育てができる「あそびの広場」の管理運営
- **不妊・不育症治療費助成事業** 995万円
保険が適用されない不妊・不育症治療費の一部を助成
- **栗沢認定こども園運営事業** 6,734万円
保育所と幼稚園の一元化施設の運営管理
- **保育所入所運営事業** 総 15億1,751万円
保育料の減額・細分化により家庭の負担を軽減

- **病児・病後児保育運営事業** 1,758万円
病児・病後児の一時保育により保護者の子育てを支援
- **母子保健推進事業** 4,973万円
各種検診をはじめ、新生児訪問や母子訪問事業などを実施
- **幼稚園入所運営事業** 5億3,627万円
子ども・子育て支援法に基づく給付を実施
- **青少年対策事業** 579万円
学校・家庭・地域と連携した青少年の非行防止の取組を推進
- **青少年育成事業** 拡充 437万円
少年の主張大会の開催、地域子ども会事業の活動支援
- **留守家庭児童対策事業** 1億2,294万円
放課後児童クラブ等の運営及び支援
- **ブックスタート事業** 176万円
絵本を通して心触れ合うきっかけをつくる
- **児童厚生施設運営事業** 拡充 6,820万円
児童館、来夢21の管理運営及びイベント等の開催

学校教育の充実

- **教育情報システム化推進事業** 2,310万円
ICTタグを活用した児童の安全・安心の確保を推進
- **学び・心はぐくむ
学校活動支援事業** 1,185万円
各学校が主体となり企画・立案する活動への支援など
- **特別支援教育推進事業** 4,752万円
特別な教育的支援が必要な児童生徒に応じた支援
- **教育指導振興事業** 746万円
いじめ問題対策連絡協議会によるいじめ防止等の調査研究
- **コミュニティ・スクール
促進事業** 拡充 96万円
コミュニティ・スクール（CS）の導入を促進
- **外国語指導助手活用事業** 3,782万円
外国語指導助手（ALT）による外国語指導
- **教育支援センター事業** 総 1,900万円
専門スタッフによる教育相談や登校支援等を実施
- **学力向上対策事業** 341万円
小・中学生対象の学習会等を開催し、基礎学力向上を図る
- **教育研究所運営事業** 拡充 1,719万円
教職員の資質向上のための養成・研修事業の実施

生涯学習の振興と社会教育の充実

- **市民の学び支援事業** 894万円
学習活動の場の提供と、自主的な学習活動への支援

芸術文化・スポーツの振興

- **教育大学連携事業** 総 拡充 300万円
豊かな人材と知的資源を活かした特色あるまちづくり
- **文化のまちづくり事業** 1,130万円
「キタオン」や「まなみーる」を拠点に鑑賞機会を提供
- **健康・スポーツ振興事業** 1,354万円
強化指定選手等を対象にアスリート奨励金を交付
- **オリンピック・パラリンピック
推進事業** 617万円
合宿誘致や選手と市民との交流等を図る

北海道教育大学岩見沢校BOX【i-BOX】





令和2年度予算のポイント

市営住宅建設事業 魅力ある都市空間と快適な居住環境の形成 市営住宅の計画的な整備



公営住宅等長寿命化計画に基づき、市営住宅の建替や移転に伴う助成、大規模改修工事、既存団地の除却などを実施します。令和2年度は、6条中央団地の建替えに伴う基本設計、用地測量等を実施します。

建設部建築課

民間住宅耐震改修等助成事業 魅力ある都市空間と快適な居住環境の形成 建替えに伴う除却費の一部助成



旧耐震基準で建築・着工された木造住宅等について、耐震診断を行う場合や耐震診断により倒壊、崩壊する危険性がある、または高いと判断された耐震改修を行う所有者に対し、費用の一部を助成します。

建設部建築課

高度情報通信基盤整備事業 地域情報化の推進 情報通信格差を解消 地域BWA整備



無線を用いた高速データ通信の標準規格であるBWAの基地局整備等により、市内における地域間の情報通信格差の解消を進め、教育・医療・防災・福祉・行政・農業など、様々な分野でのICT利活用の可能性を広げます。

企画財政部企業立地情報化推進室

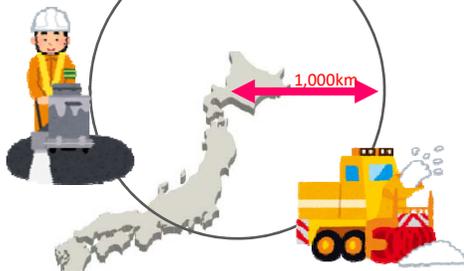
ICT活用型総合戦略推進事業 地域情報化の推進 ICT基盤のさらなる活用



「農・食・健康・環境をICTでつなぐまち ～スマート・アグリシティ～」をコンセプトに、産学官連携を図りながら、ICT環境のさらなる利活用を推進します。

企画財政部企業立地情報化推進室

自然と調和し 暮らしを支える 岩見沢市のインフラ



市道管理延長 1,098km
(平成31年3月末日現在)

車道除雪延長 969km
歩道除雪延長 140km
運搬排雪延長 90km

(令和2年度道路除雪計画)



上水道管路延長 1,140km
下水道管路延長 512km
(平成31年3月末日現在)

公園数
公園面積

198箇所
353ha
(平成31年3月末日現在)



快適かつ安全に暮らすことのできる都市基盤の整備に向け、利便性の高い市街地や快適な居住環境の形成、道路・橋梁の適正な整備と維持管理、公共交通の利便性の向上及び上下水道の適正運営に努めます。また、緑豊かな自然環境の維持・保全に努めるとともに、循環型社会の形成を推進します。さらに本市の強みである高度ICT基盤を活用し、様々な地域課題の解決に取り組みます。

魅力ある都市空間と快適な居住環境の形成

- **市民連携活動事業** 914万円
町会要望の対応や管理不全な空家の対応
- **まちづくり推進事業** 497万円
都市計画用途地域や都市計画道路等を計画的に決定
- **駅前通整備促進事業** 714万円
駅前通りの活性化に向けた景観形成への支援
- **市営住宅建設事業** 1億3,261万円
更新時期を迎える市営住宅の計画的な改修・整備
- **民間住宅耐震改修等助成事業** 拡充 456万円
木造住宅及びブロック塀の耐震診断費用等の一部を助成

快適な道路環境の確保

- **道路新設改良事業** 17億7,470万円
道路改良、舗装改良、歩道造成、防じん処理等を実施
- **街路事業** 1億6,550万円
東17丁目通の整備、西20丁目通の調査を実施

公共交通の利便性の向上

- **生活交通確保対策事業** 9,412万円
公共交通網の構築を進め、市民生活の足の確保を図る

上下水道の適正な運営

- **地域水洗化事業** 4,163万円
合併処理浄化槽の設置に対し、設置資金補助等を行う
- **し尿処理事業** 3,990万円
し尿及び浄化槽汚泥の効率的な処理を実施
- **桂沢水道企業団出資金** 9,410万円
桂沢水道企業団の構成市として、企業団に対し出資を行う
- **送水管・配水管整備事業** 8億1,804万円
水道施設の更新及び耐震化を行い、水の安定供給に努める
- **下水道築造事業** 8億3,225万円
公共用水域の水質保全、大雨による浸水被害の防止等を図る

緑豊かなまちづくりの推進

- **ばらのまちづくり推進事業** 1,153万円
「バラの街」と言われるまちづくりを市民と協働で推進
- **公園造成事業** 1億52万円
遊具等を定期的に点検・診断し、計画的に更新等を実施
- **利根別原生林保全事業** 2億100万円
利根別原生林の優れた自然環境を保全し、利活用を進める

地域情報化の推進

- **高度情報通信基盤整備事業** 総 拡充 2億3,781万円
自営光ファイバ網等の運用管理や地域BWAの整備を実施
- **ICT活用型総合戦略推進事業** 総 拡充 6,000万円
ICTやAI等を用いたスマート・アグリシティの実現

環境の保全と循環型社会の形成

- **環境対策事業** 1,317万円
太陽光発電システムの導入に対する支援を実施
- **ごみ処理対策事業** 14億739万円
ごみ処理三原則を推進し、ごみの減量化・資源化を促進
- **ごみ減量化推進事業** 2,475万円
ごみ減量・再資源化による循環型社会を目指す



市花（バラ）



令和2年度予算のポイント

広報活動事業

開かれた市政の推進

タイムリーな情報発信



動画コンテンツの配信、地デジ広報、情報配信モニター、コミュニティFM、街頭放送、ホームページ、SNSなど、様々な媒体を活用してタイムリーな情報を発信します。また、地方版マイ広報紙の配信も引き続き実施します。

総務部秘書課

保育所入所運営事業ほか

持続可能な行財政基盤の確立

スマートシティの実現に向けた取組み

- ・子ども子育て支援システム（申請書の自動読取）
- ・校務支援システム（指導要録、成績処理など）
- ・ICT教育環境整備（タブレット端末による研究）
- ・広報紙の多言語化（翻訳：7か国語）
- ・スマート建機の利活用に向けた電子台帳の整備 など



教育部子ども課ほか



少子高齢化や人口が減少しても持続可能な社会構築をめざすため、市民サービスの利便性向上や人的・財政的負担の軽減を図るなど、スマートシティの実現に向けた取組みを進めます。

市庁舎建設事業

持続可能な行財政基盤の確立

市庁舎の建設



防災拠点としての機能を備えた新庁舎の建設を令和3年11月の完成に向けて進めます。

総務部新庁舎整備室

ふるさと応援寄附事業

持続可能な行財政基盤の確立

ふるさと応援寄附

岩見沢市は、市内外の多くの皆さんから応援いただいています。

市外から、ご寄附という形で応援をいただいた皆さんには、少しでも岩見沢の良さを感じていただけるよう、特産品などの返礼品をお送りしています。また、お寄せいただいたご寄附は、市民の皆さまの暮らしに最適な行政サービスとして活用します。



企画財政部企画室

持続可能な行財政基盤

岩見沢市では、行政運営の適正化、持続可能な財政運営、適正な定員管理を行うため、「行政改革大綱」、「中長期財政計画」、「職員定員管理計画」を策定し、取組みを進めています。

【市職員数の推移】

(各年4月1日現在)

部門	年度	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
	一般行政部門		434	413	413	410	415
教育部門		121	126	121	119	117	114
公営企業等会計部門		567	578	583	584	579	583
消防部門		134	135	134	134	135	135
合計		1,256	1,252	1,251	1,247	1,246	1,249



市民と行政との協働によるまちづくりの推進に向け、積極的な情報発信の充実と市民が市政に参画する機会の充実を図ります。

また、行財政改革の取組みを進めることにより、持続可能な行財政基盤の確立を図ります。



開かれた市政の推進

- 広報活動事業 拡充 6,360万円
さまざまな媒体を活用し、市民に分かりやすい情報を発信

動画再生



持続可能な行財政基盤の確立

- 職員研修事業 810万円
政策形成能力の向上及び専門的知識の習得を図る
- 市庁舎建設事業 20億円
新庁舎の建設工事を実施
- 公共施設マネジメント推進事業 118万円
将来を見据えた経営的視点による公共施設の適正配置を推進
- ふるさと応援寄附事業 1億8,839万円
国の「ふるさと納税制度」を活用し、市をPR



令和2年度 総合戦略関連予算

総合戦略関連予算 27事業 12億9,623万円
 (ハード事業を除いたソフト分 6億3,773万円)

【注】※は1つの事務事業が複数分野に関連している事業

基本方針

誰もが活躍できる地域社会の実現と個々の生産性の向上により成長を続ける「スマートシティ」

第1期総合戦略における取組みを通じて根付いた「地方創生」の芽を、より確かなものとし、次のステップに向けた歩みを進めていくため、「第2期岩見沢市総合戦略」を策定し、次の基本目標により各種施策を展開します。

- ◆ ICT農業普及促進事業 650万円
- ◆ 地域産業協働促進事業 300万円
- ◆ 創業支援事業 1,250万円
- ◆ 中心市街地活性化対策事業※ (うち魅力ある店舗づくり支援事業) 750万円
- ◆ プレミアム付建設券発行支援事業 6,500万円
- ◆ 新産業創出促進事業 1,015万円
- ◆ 新規就農・農業後継者育成支援事業 1,775万円
- ◆ ICT活用型総合戦略推進事業※ (うち人材の育成と活躍促進事業) 2,000万円
- ◆ 職業能力向上事業 (うち技能者人材確保・育成支援事業) 576万円

- ◆ 教育大学連携事業 300万円
- ◆ 中心市街地活性化対策事業※ (うちまちの活性化事業) 1,590万円
- ◆ 観光振興戦略推進事業 1,390万円
- ◆ ふるさと毛陽地域振興事業 997万円
- ◆ 北村温泉施設整備事業 5億円
- ◆ 移住定住促進事業 4,126万円
- ◆ シティプロモーション推進事業 1,400万円

安定した雇用を創出するとともに、
経済を支える人材を育て活かす

I

II 新しい「ひとの流れ」をつくる

II

基本目標

結婚・出産・子育ての希望をかなえる、
誰もが活躍できる地域社会をつくる

III

IV 安心して暮らすことができる地域をつくとともに、
新しい時代の流れを力にする

IV

- ◆ 子育て総合支援センター事業 1,981万円
- ◆ あそびの広場運営事業 3,205万円
- ◆ 子どもの医療助成事業 1億1,590万円
- ◆ 教育支援センター事業 1,900万円
- ◆ 保育所入所運営事業 1,283万円
- ◆ 保育・教育人材確保事業 300万円
- ◆ 子ども・子育て支援事業 (うちファミリー・サポート・センター事業) 329万円
- ◆ 共生のまちづくり推進事業 5,325万円

- ◆ 健康経営都市推進事業 2,157万円
- ◆ 高齢者・障がい者の冬の暮らし支援事業 4,109万円
- ◆ 防災対策事業 3,972万円
- ◆ ICT活用型総合戦略推進事業※ (うち地域イノベーション推進事業等) 4,000万円
- ◆ 高度情報通信基盤整備事業 1億4,853万円

Ⅱ. 予算のポイント

予算規模

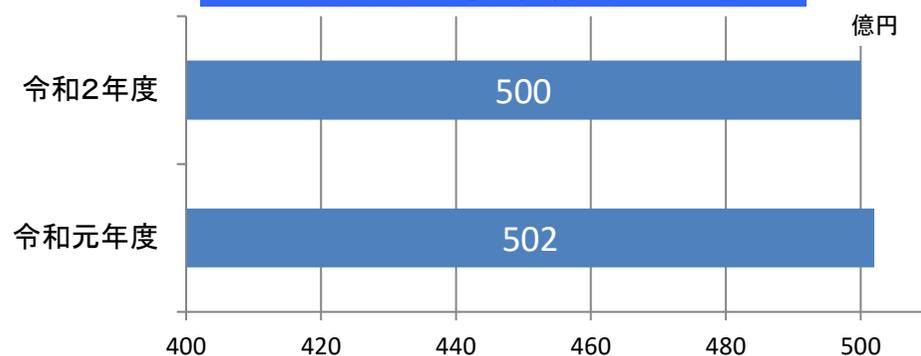
○全会計の令和2年度予算額は、
前年度比0.3%増の924億円

○一般会計の令和2年度予算額は、
前年度比0.4%減の500億円

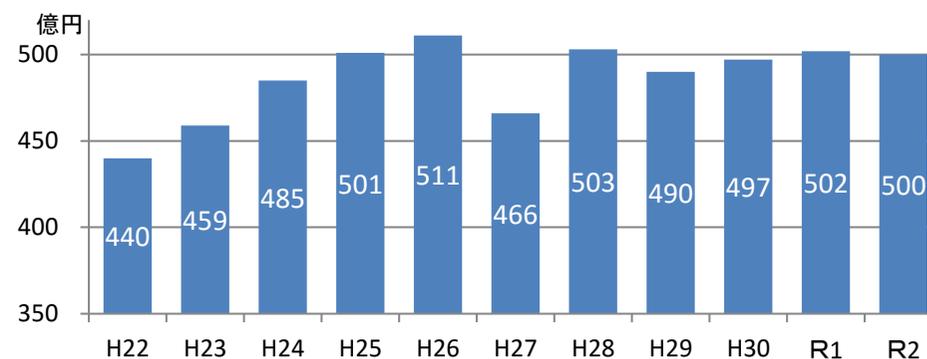
(単位 千円、%)

会計		令和元年度	令和2年度	増減	増減率
一般会計		50,200,000	50,000,000	▲ 200,000	▲ 0.4
特別会計	国民健康保険費	9,252,238	8,878,760	▲ 373,478	▲ 4.0
	公共用地等造成費	131,905	134,763	2,858	2.2
	公設卸売市場費	41,964	34,267	▲ 7,697	▲ 18.3
	高等学校費	592,303	590,084	▲ 2,219	▲ 0.4
	企業用地造成費	27,519	28,550	1,031	3.7
	農業集落排水事業費	231,877	222,306	▲ 9,571	▲ 4.1
	介護保険費	9,132,893	9,757,511	624,618	6.8
	後期高齢者医療費	1,361,301	1,410,759	49,458	3.6
	小計	20,772,000	21,057,000	285,000	1.4
合計		70,972,000	71,057,000	85,000	0.1
企業会計	病院事業会計	13,594,000	13,830,000	236,000	1.7
	水道事業会計	3,170,000	3,173,000	3,000	0.1
	下水道事業会計	4,338,000	4,315,000	▲ 23,000	▲ 0.5
	小計	21,102,000	21,318,000	216,000	1.0
総計		92,074,000	92,375,000	301,000	0.3

一般会計当初予算額の比較



一般会計当初予算額の推移

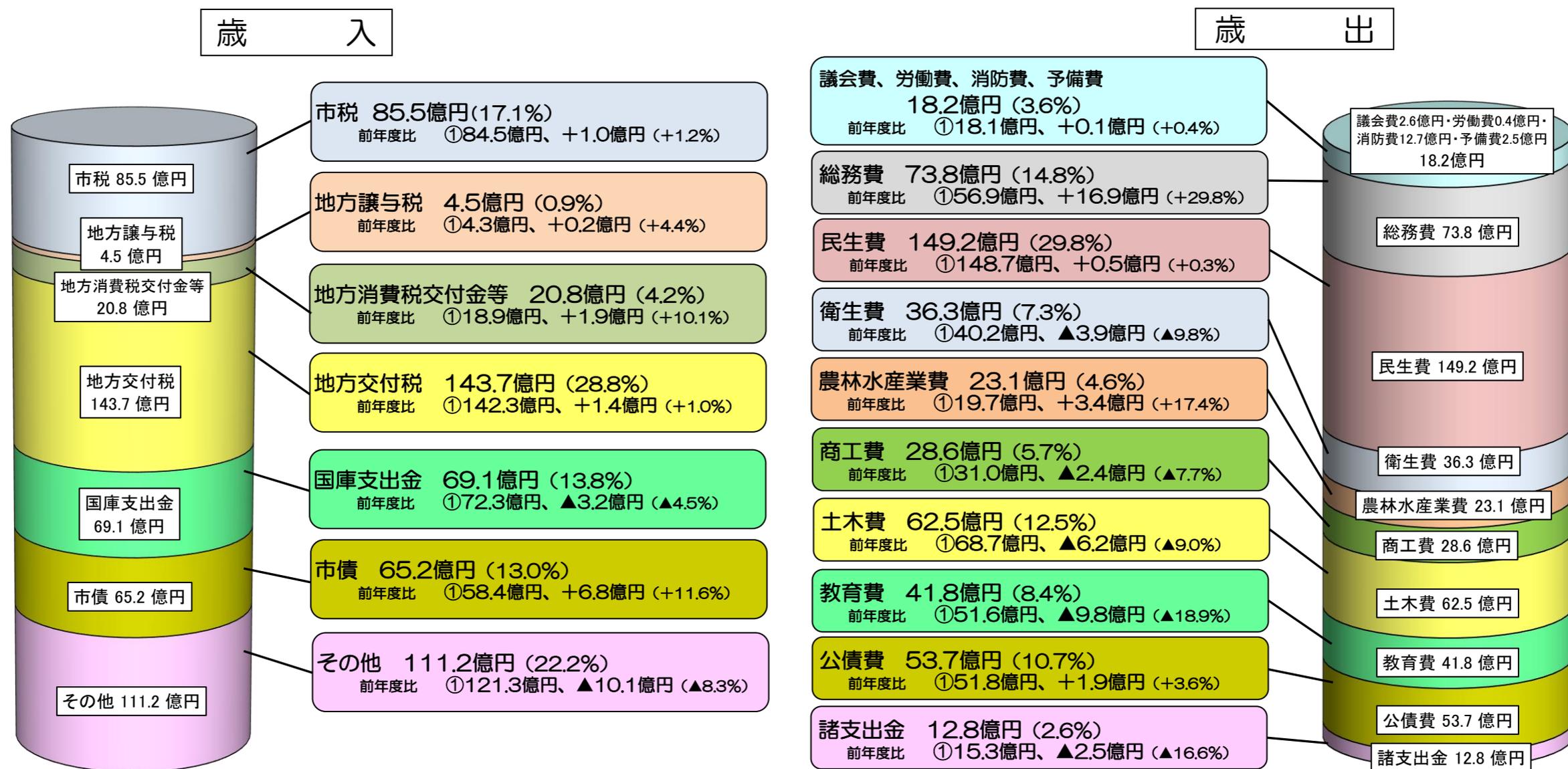


Ⅱ. 予算のポイント

一般会計予算の概要

総額 500億円

前年度比 ①502億円、▲2億円 (▲0.4%)

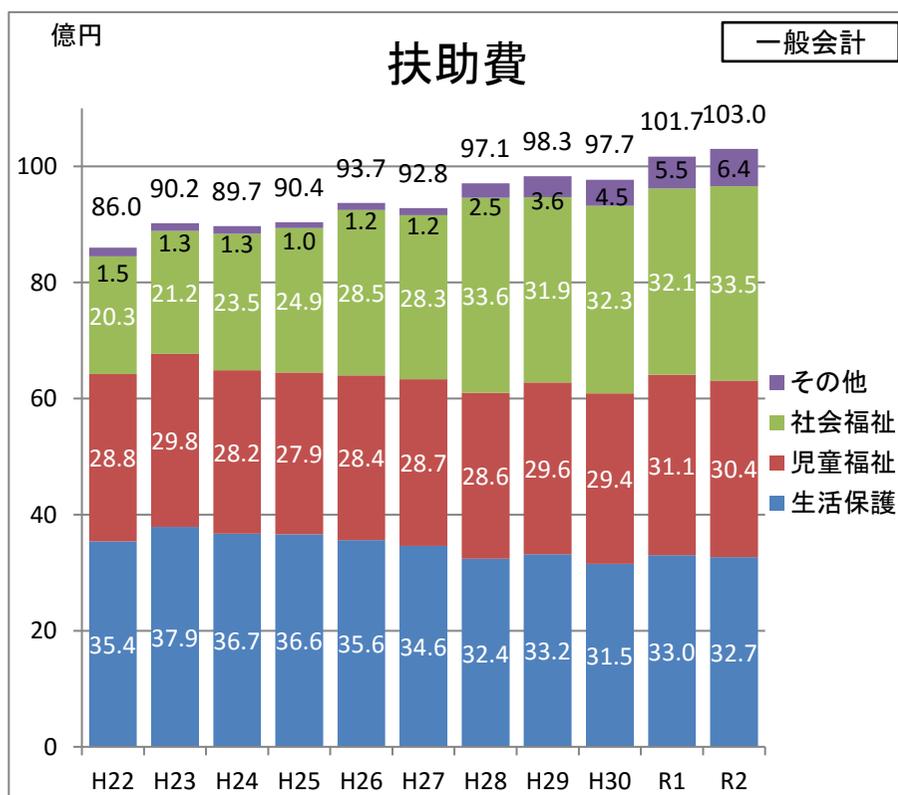


Ⅱ. 予算のポイント

扶助費・建設費

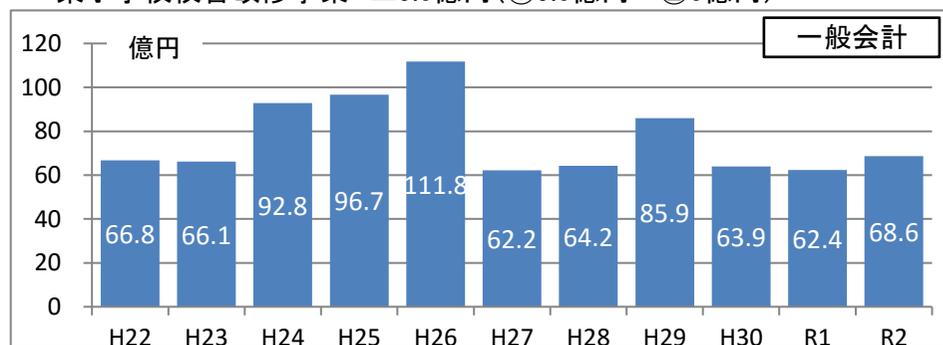
扶助費

- 社会福祉費の増(前年度比+1.4億円、+4.4%)
障がい者自立支援給付費の増
- 児童福祉費の減(前年度比▲0.7億円、▲2.3%)
児童手当及び児童扶養手当の減
- その他の扶助費の増(前年度比+0.9億円、+16.4%)
幼稚園入所に係る施設型給付費の増

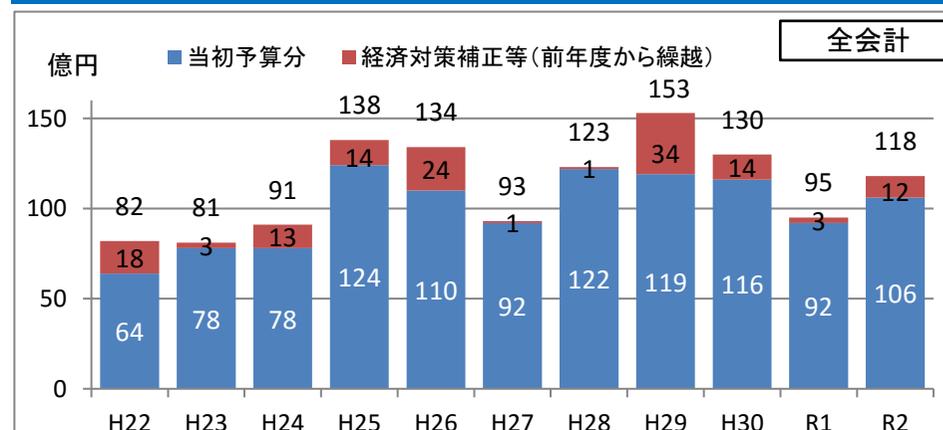


建設費(投資的経費)

- 68.6億円の事業費を計上(前年度比+6.2億円、+9.9%)
市庁舎建設事業 +16.2億円(①3.8億円→②20.0億円)
栗沢文化交流施設整備事業 +3.9億円(①3.7億円→②7.6億円)
北村温泉施設整備事業 +4.9億円(①0.1億円→②5.0億円)
街路事業(東17丁目通) ▲4.1億円(①5.5億円→②1.4億円)
東小学校校舎改修事業 ▲9.0億円(①9.0億円→②0億円)



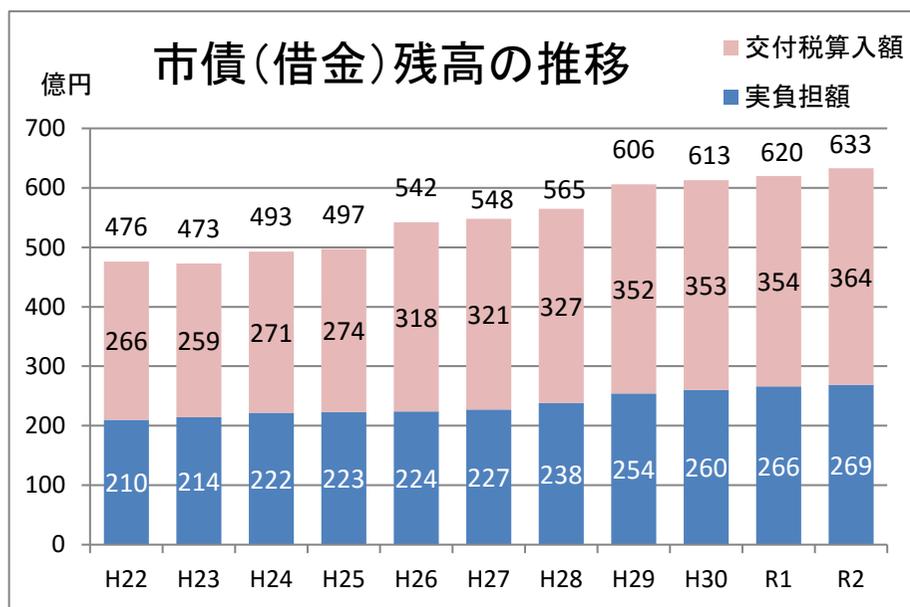
土木・建設事業に類する事業費(投資的経費+除排雪事業+市営住宅・学校修繕等)



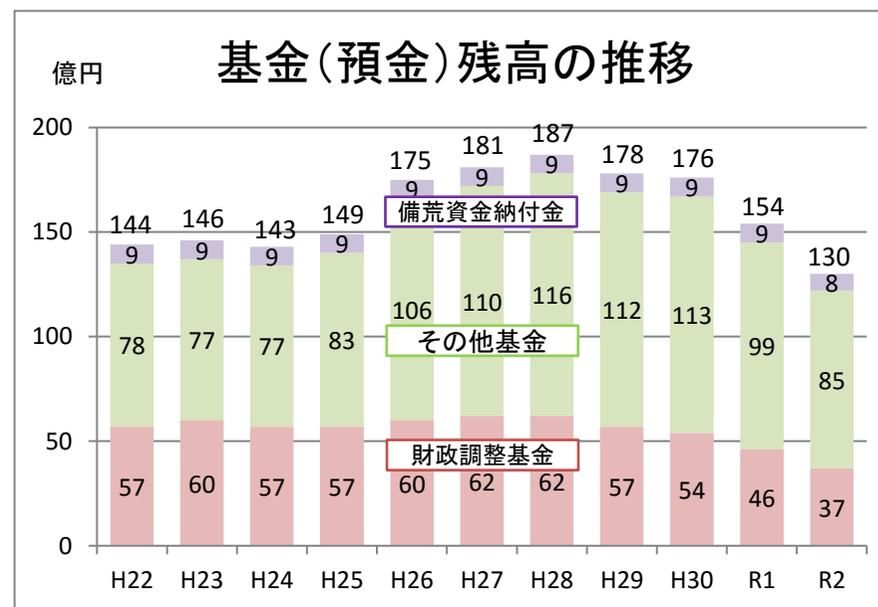
Ⅱ. 予算のポイント

市債・基金の状況

市庁舎建設事業や栗沢文化交流施設整備事業など、将来に向けた基盤整備のために市債を発行し、世代間負担の公平性を確保するとともに、合併特例債などの財源的に有利な市債（一定の割合が国(交付税)により補てん)の発行に努めており、令和2年度末の市債残高見込みは約633億円となるものの、そのうち元利償還金に対する交付税算入額を除いた実負担額は、約269億円(約43%)となる見込みです。一方、事業実施にあたっては、国・道の補助金や市債を有効活用することにより、大規模事業を実施しながらも、基金残高は約130億円を確保できる見込みです。



※ 市債残高は、平成29年度末から600億円台となっておりますが、交付税算入額を除いた実負担額の伸びは最小限に抑えています
(平成22年度比: 残高+157億円、実負担額+59億円)



※ 財源不足に対応するため財政調整基金から9.7億円の繰入れを計上
※ 基金残高には、北海道備荒資金組合納付金(8億円)を含む

Ⅱ. 予算のポイント

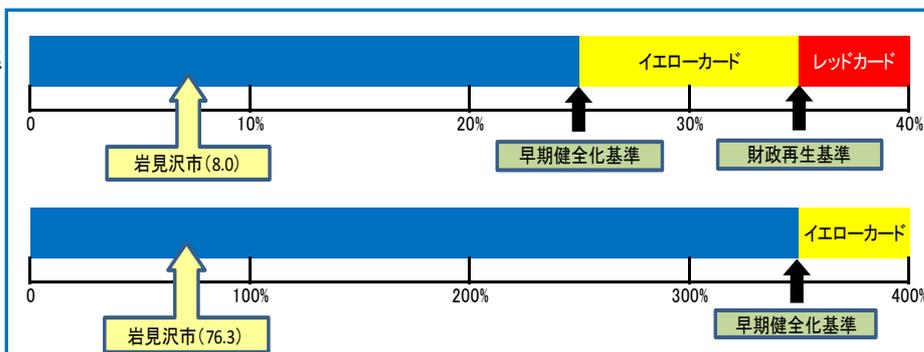
財政健全化指標

健全化判断比率

○財政状況をチェックする比率で、早期健全化基準を大きく下回るなど、健全財政を維持しています。

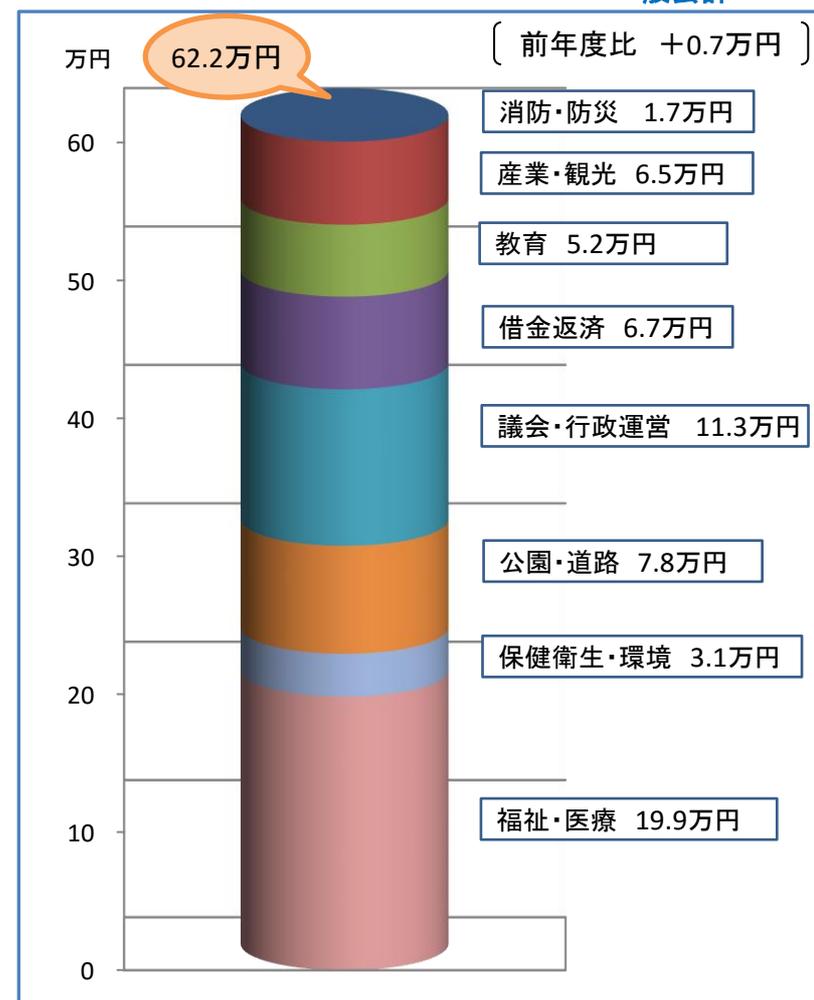
比率	内容	R1見込	R2見込	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	市税・交付税などの市の収入に対する一般会計等の赤字額の割合	赤字なし	赤字なし	約12%	20%
連結実質赤字比率	市税・交付税などの市の収入に対するすべての会計の赤字額の割合	赤字なし	赤字なし	約17%	30%
実質公債費比率	市税・交付税などの市の収入に対する借金返済費用の割合	7.2%	8.0%	25%	35%
将来負担比率	市税・交付税などの市の収入に対する一般会計等が将来負担すべき借金などの割合	62.8%	76.3%	350%	-

実質公債費比率



市民一人当たり62.2万円の使い道は

一般会計



部名	事業名	総額	事業内容		
			2年度当初	元年度追加補正	
総務部	シティプロモーション推進事業	14,000	14,000		<p>岩見沢市の魅力や暮らしに関する情報を、ラジオを中心とした様々な媒体で、ターゲットに対して効果的に発信することにより、岩見沢市への居留意欲の向上を図る。</p>
	※市庁舎建設事業	2,000,000	2,000,000		<p>現庁舎の耐震性や利便性など様々な問題点を踏まえ、市民が利用しやすく、簡素で機能性と経済性に優れ、総合的な防災・災害復旧の拠点となる新庁舎の建設工事などを進める。</p> <p style="text-align: right;">新庁舎改築工事 1,912,000 千円 新庁舎工事監理委託料 21,760 千円 【新規】 現庁舎解体設計委託料 18,000 千円</p>
	※防災対策事業	39,714	39,714		<p>災害に強いまちづくりを推進するため、自助・共助による地域防災力の向上を図るほか、市民が適切な避難行動をとることができるよう、多様な情報発信手段の構築を図る。また、避難所運営に必要な備蓄品や資機材を計画的に整備するとともに、災害発生後の被災者の生活再建を速やかに進めるため、被災者生活再建システムを導入する。</p> <p style="text-align: right;">【新規】 被災者生活再建システム整備委託料 5,180 千円 【新規】 被災者生活再建システム利用料 1,100 千円</p>
	市民連携活動事業	9,135	9,135		<p>町会（自治会）からの陳情・要望の受付及び町会との現地確認並びに回答を行うほか、管理不全な空き家のパトロールや所有者への指導、不良空家の除却を促進する。</p> <p style="text-align: right;">不良空家除却補助金 5,000 千円</p>

(注) ・「※印」の事業は新規・拡充を含む事業
 ・「元年度追加補正」は、元年度補正予算で予算計上し、2年度で執行する事業

部名	事業名	総額	2年度	元年度	事業内容
			当初	追加補正	
企画 財政部	生活交通確保対策事業	94,120	94,120		岩見沢市地域公共交通活性化協議会などでの協議を踏まえ、公共交通のさらなる利便性向上と利用の促進に向けた取組みを進める。 また、バス路線をはじめとする市民の足を将来にわたって維持していくため、運行経費の一部支援等を行う。
	公共施設マネジメント推進事業	1,178	1,178		「岩見沢市公共施設等総合管理計画」及び「岩見沢市公共施設再編基本計画」に基づき、施設単位での具体的な対応方針を示す個別施設計画の策定を進め、公共施設の適正配置を図る。
	地域おこし推進事業	5,240	5,240		人口減少や高齢化等の進行が著しい地域に、市外から意欲ある新たな人材を誘致し、定着を図るとともに、地域資源を活かした活動を支援することにより、活力と魅力ある地域づくりを行う。
	移住定住促進事業	41,257	41,257		「第2期岩見沢市総合戦略」に基づき、移住定住に係る相談窓口の充実、移住者が住宅を購入する際の助成、移住を検討している方への体験住宅の提供、東京圏からのUIJターンへの支援を行うことで、移住定住の促進を図る。 <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> 空き店舗・空き家等利活用促進事業 住宅購入支援事業 お試し暮らし事業 UIJターン促進支援事業 </div> <div style="text-align: right;"> 21,000 千円 15,000 千円 1,923 千円 2,000 千円 </div> </div>

(注) ・「※印」の事業は新規・拡充を含む事業
 ・「元年度追加補正」は、元年度補正予算で予算計上し、2年度で執行する事業

部名	事業名	総額	事業内容	
			2年度当初	元年度追加補正
企画財政部	ふるさと応援寄附事業	188,381	188,381	ふるさと納税制度を活用して岩見沢の魅力を全国に発信し、知名度の向上を図ることにより、岩見沢に関わる人を増やし、魅力あるまちづくりを進める。
	※ 教育大学連携事業	3,000	3,000	【新規】 有明交流プラザ内の「i-BOX」の運営をはじめ、美術展やコンサート、スポーツ交流などを通じた市民レベルでの交流を推進するとともに、学生と市民の関わりを深め、まちの活性化につなげる。
	高度情報通信基盤整備事業	237,810	237,810	ICT活用による「市民生活の質の向上」と「地域経済の活性化」を目的に、自営光ファイバ網など地域ICT基盤の効率的・安定的な運用に努めるとともに、スマート農業の社会実装に向け、農地を含めたブロードバンド環境構築を推進する。
	※ ICT活用型総合戦略推進事業	60,000	60,000	産学官連携のもと、ICT（情報通信技術）やロボット技術、AI、ビッグデータ等を用いた新たな利活用機能と社会基盤の最適化に向けた取組みを連動させながら、Society5.0社会に対応した社会形成を推進する。 【新規】 地域通信環境最適化推進事業 10,000 千円 【新規】 地域イノベーション推進事業 10,000 千円

(注) ・「※印」の事業は新規・拡充を含む事業
 ・「元年度追加補正」は、元年度補正予算で予算計上し、2年度で執行する事業

Ⅲ. 主要・新規の事務事業

令和2年度 主要・新規の事務事業

(単位 千円)

部名	事業名	総額	事業内容	
			2年度当初	元年度追加補正
健康福祉部	障害者自立支援給付事業	3,095,165	3,095,165	障がいのある人が、自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、必要な障害福祉サービス等を提供し、福祉の増進を図る。 また、基本的な動作の指導や集団生活への適応訓練等を提供する障害児通所支援について、利用者負担額を無料（市単独施策）とし、早期療育を推進する。
	※共生のまちづくり推進事業	164,807	164,807	バリアフリーの推進や障がいの特性に合わせた施策展開により社会参加を促進し、互いに支え合い、安心して暮らせる共生のまちづくりを推進する。 障がいのある人の芸術作品等を通じて市民の障がいへの理解を深めるとともに、アール・ブリュット芸術祭を開催し、芸術文化によるまちづくりを推進する。また、共生のまちづくり構想の策定に向けた調査研究を進める。 【拡充】 手話言語周知普及 7,013 千円 【新規】 障がい者等の災害対策支援事業 4,230 千円 【新規】 共生のまちづくり構想調査 2,000 千円 岩見沢アール・ブリュット芸術祭開催 8,000 千円 ※障害者の文化芸術フェスティバル（文化庁委託）と同時開催
	高齢者・障がい者の冬の暮らし支援事業	41,081	41,081	自力で除排雪が困難な高齢者・障がい者世帯等に対し、冬期間における日常生活の安全確保を図る。 町会等除雪ボランティア支援 7,870 千円 岩見沢市社会福祉協議会と連携し、地域（町会等）の除雪ボランティア活動を支援する。 冬の暮らし支援事業 30,000 千円 高齢者・障がい者世帯等を対象に屋根の雪下ろし・間口除雪・定期排雪に係る費用の一部を助成する。

(注) ・「※印」の事業は新規・拡充を含む事業
 ・「元年度追加補正」は、元年度補正予算で予算計上し、2年度で執行する事業

Ⅲ. 主要・新規の事務事業

令和2年度 主要・新規の事務事業

(単位 千円)

部名	事業名	総額	元年度		事業内容
			当初	追加補正	
健康福祉部	高齢者・障がい者の見守り支援事業	6,180	6,180		病弱な高齢者・障がい者世帯が安心して地域で暮らすことができるよう、緊急時の消防への通報や現場へのかけつけ、看護師等専門職による24時間相談などの民間サービスを利用する際の費用の一部を助成する。 緊急通報サービス助成 5,790 千円
	介護サービス利用者負担軽減事業	11,398	11,398		介護サービスを利用している低所得者に対し、負担軽減を行う。 訪問介護サービス利用者負担軽減事業（市独自施策） 8,518 千円 社会福祉法人等利用者負担軽減事業 2,880 千円
	※ 高齢者のげんきづくり支援事業	21,622	21,622		岩見沢市老人クラブ連合会や町内会、老人クラブなどが実施する「げんきづくり」につながる事業を支援する。 【拡充】 高齢者の生きがいがづくり推進事業 2,586 千円 高齢者の健康を「まもる・つくる・つなぐ」事業（市老連が企画・実施）への助成 高齢者の健康づくり推進事業 700 千円 敬老事業 12,506 千円 老人クラブ活動運営事業 5,830 千円
	地域支援事業 （特別会計介護保険費）	578,037	578,037		介護予防、保健医療、福祉の向上を促進し、地域において自立した日常生活ができるよう支援する。 介護予防・日常生活支援総合事業 455,696 千円 包括的支援事業・任意事業 122,341 千円

(注) ・「※印」の事業は新規・拡充を含む事業
 ・「元年度追加補正」は、元年度補正予算で予算計上し、2年度で執行する事業

部名	事業名	総額	事業内容	
			2年度当初	元年度追加補正
健康福祉部	子どもの医療助成事業	215,184	215,184	<p>子育て世帯の経済的な負担軽減を図り、子どもの健康を増進し、安心して子育てができるよう、子どもの医療費を助成する。</p> <p>通院医療費助成（小学校6年生まで） 入院医療費助成（中学校3年生まで）</p> <p>医療費無料化、小学生の通院・中学生の入院医療費助成は市独自施策として実施</p> <p style="text-align: right;">115,900 千円</p>
	特定健康診査等事業 (特別会計国民健康保険費)	62,960	62,960	医療費の増加要因となっているメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に着目した特定健康診査及び特定保健指導を無料で実施し、生活習慣病の予防と早期発見につなげる。
	保健衛生普及事業 (特別会計国民健康保険費)	41,196	41,196	人間ドック、脳ドックの助成及び各種がん検診の無料化を行い、疾病の予防や早期発見につなげ、健康寿命の延伸を図る。
	データヘルス事業 (特別会計国民健康保険費)	17,644	17,644	診療報酬明細書（レセプト）と特定健康診査のデータを分析・活用した保健事業計画（データヘルス計画）に基づき、糖尿病や高血圧症の重症化予防、ジェネリック医薬品の利用促進、医療機関への受診勧奨、多受診者指導、服薬情報通知等を行い、効率的・効果的な保健事業を推進する。
	保健総務管理事業	16,056	16,056	「いわみざわ健康ひろば」を拠点に、市民一人ひとりの健康づくりを支援する。

(注) ・「※印」の事業は新規・拡充を含む事業
 ・「元年度追加補正」は、元年度補正予算で予算計上し、2年度で執行する事業

部名	事業名	総額	元年度		事業内容
			当初	追加補正	
健康福祉部	健康寿命延伸事業	79,262	79,262		<p>市民の健康を「まもる」、「つくる」、「つなぐ」ため、ライフステージに応じた健康の保持増進や疾病の予防及び早期発見等につながる事業を実施する。 がん検診の自己負担額を引き続き道内トップレベルの低料金とし、協会けんぽの特定健診と市のがん検診の共同実施や、早朝健診を実施する。 また、インターネット健診予約に加え、新たに「あいのりバスツアー健診」を実施し、受診しやすい環境をつくるとともに、保健師の訪問による積極的な受診勧奨を行う。 中学生を対象としたピロリ菌検査・除菌（全額助成）、40歳以上を対象としたピロリ菌検査（一部助成）を実施し、胃がんの予防に向けた取組みを推進する。 後期高齢者の人間ドック・脳ドック費用の一部助成及び歯科健診（個別健診）を実施する。</p> <p style="text-align: right;">健康診査事業 13,716 千円 がん検診事業 41,562 千円 高齢者健診事業 9,292 千円</p>
	健康経営都市推進事業	26,472	26,472		<p>産学官金の連携のもと、生活・健康づくりのサービスを提供するための基盤構築をはじめ、「農・食・健康」の連動による産業の創出に向けた取組みを進める。 また、北海道大学COIと連携し、昨年度より開始した「げんき発見ドック」の拡充と、小・中学生や高齢者を対象にした、口と口の周りの筋力を高める「クチトレ」の効果検証を継続する。 さらに、初めて岩見沢市版「健康白書」の作成と、子どもから高齢者まで幅広く使える健康づくりの絵本を制作する。</p>
	※ 疾病予防推進事業	182,457	182,457		<p>疾病・感染症の発症及びまん延を予防し健康な生活を送ることができるよう、定期の予防接種を実施する。 また、風しんの流行抑制、特に出生時の先天性風しん症候群の防止を図るため、抗体検査、予防接種費用を助成（S37.4.2～S54.4.1生の男性）するとともに、妊娠を希望する女性で抗体検査を受け、陰性であった方を対象に予防接種費用の一部を助成する。</p> <p style="text-align: center;">【新規】 ロタウイルスワクチン接種の実施（令和2年10月～）</p>

(注) ・「※印」の事業は新規・拡充を含む事業
 ・「元年度追加補正」は、元年度補正予算で予算計上し、2年度で執行する事業

部名	事業名	総額	2年度		事業内容
			当初	元年度追加補正	
健康福祉部	母子保健推進事業	49,721	49,721		少子化、核家族化等の進行に伴う育児不安を軽減し、母子の健全な育成と、安全・安心な出産を支援するため、乳幼児健診や家庭訪問などを実施し、疾病の予防及び早期発見に努める。 また、1歳6か月児健診時にフッ素塗布を無料で実施し、幼児期の歯科保健対策の推進を図る。
	不妊・不育症治療費助成事業	9,950	9,950		赤ちゃんを望む夫婦に経済的負担の大きい不妊症及び不育症の治療費の一部を市の独自施策として助成し、安心して妊娠・出産できるよう支援する。
	生活困窮者自立促進支援事業	25,556	25,556		生活困窮者が困窮状態から早期に脱却することを目指し、岩見沢市生活サポートセンター「りんく」において、他の関係機関と連携した相談・就労支援を実施するほか、一般就労が困難な人に対し、就労意欲や就職活動の知識の向上を目指し、就労準備支援を行う。 また、貧困の連鎖からの脱却を目指し、生活保護受給世帯等の小・中学生を対象に学習支援を行う。 生活困窮者自立支援事業 23,321 千円 生活困窮者学習支援事業 2,235 千円
	※生活保護運営事業	36,908	36,908		生活保護の適正な実施及び運用を行う。 また、診療報酬明細書（レセプト）と健康診査データ等に基づく現状分析と健康課題を把握し、保健師とケースワーカーが連携して個別指導することで、生活習慣病の重症化予防等の健康管理支援を行う。 【新規】 被保護者健康管理支援事業 5,319 千円

(注) ・ 「※印」の事業は新規・拡充を含む事業
 ・ 「元年度追加補正」は、元年度補正予算で予算計上し、2年度で執行する事業

部名	事業名	総額	事業内容	
			2年度当初	元年度追加補正
環境部	環境対策事業	13,161	13,161	<p>環境週間などのイベントをはじめ、国民運動COOL CHOICEの普及啓発など、地球温暖化防止に向けた取組み等を通して、市民・事業者の環境保全に対する意識の高揚を図る。 また、太陽光発電の普及に向けた支援等を行うとともに、効率的なエネルギー利用の普及啓発を図る。</p> <p style="text-align: right;">太陽光発電システム導入補助金 3,000 千円</p>
	ごみ処理対策事業	1,407,384	1,407,384	<p>いわみざわ環境クリーンプラザの適正な管理運営と適正排出や分別徹底に向けた取組みを推進する。</p> <p style="text-align: right;">いわみざわ環境クリーンプラザの長期包括的管理運営 792,024 千円 不適正排出・不法投棄対策 15,587 千円</p>
	ごみ減量化推進事業	24,742	24,742	<p>ごみ処理三原則を基本に、市民・事業者・行政がそれぞれの役割を果たしながら、ごみの減量化・再資源化に取り組み、循環型社会の形成を推進する。</p> <p style="text-align: right;">ごみ減量化・再資源化の推進 13,476 千円 ごみ出しルール of 市民への浸透を図るとともに、生ごみの自家処理の推進、事業系ごみの適正処理など、ごみ減量化・再資源化の啓発</p> <p style="text-align: right;">ごみ・リサイクルステーション整備支援 3,512 千円 地域の環境向上や市民の利便性を高めるため、設置・修繕費を助成</p> <p style="text-align: right;">集団資源回収奨励金 5,600 千円 町内会・団体等の紙類・アルミ缶・一升びん・ビールびんの集団資源回収に対し、奨励金を交付</p>

(注) ・「※印」の事業は新規・拡充を含む事業
 ・「元年度追加補正」は、元年度補正予算で予算計上し、2年度で執行する事業

部 名	事 業 名	総 額	元年度		事 業 内 容
			2年度 当 初	追加補正	
環 境 部	し尿処理事業	39,898	39,898		下水道との共同汚水処理施設において、し尿及び浄化槽汚泥の衛生的で効率的な処理を行う。
	汚水処理施設共同整備事業	52,000	52,000		共同汚水処理施設の稼働に伴い閉鎖した旧汚水処理施設（文向台衛生センター）の解体設計を行う。
農 政 部	※ 新規就農・農業後継者 育成支援事業	17,748	17,748		新規参入者を中心とした新規就農者を育成・確保するため、国の支援事業などを活用するとともに、市独自の新規就農サポート事業により支援を行う。 【拡充】 大型免許取得支援の対象に農家子弟を追加 344 千円
	地産地消等所得向上対 策事業	7,281	7,281		札幌圏及び首都圏消費拡大事業においてPR効果の高いイベント等を実施するとともに、地産地消、販路拡大、農産物の付加価値向上及びブランド化へ向けた支援を行い、農業所得の向上に努める。
	産地づくり推進事業	24,560	24,560		岩見沢産農産物の生産振興及び産地化を図るため、経営所得安定対策の推進や果樹の生産体制強化及び玉葱の生産改善を支援する。
	I C T 農業普及促進事業	6,500	6,500		「スマート農業」の社会実装による岩見沢農業の持続性確保に向けて、農業者に対する普及啓発活動や関連機器の導入を促進するための新たな環境形成について評価検証を行う。

(注) ・ 「※印」の事業は新規・拡充を含む事業
 ・ 「元年度追加補正」は、元年度補正予算で予算計上し、2年度で執行する事業

部名	事業名	総額	事業内容		
			2年度当初	元年度追加補正	
農政部	地域産業協働促進事業	3,000	3,000		企業と連携し新規作物の導入や商品開発等の取組みを推進することにより、農業所得の向上、地域経済の活性化及び安定した雇用を目指す。
	鳥獣対策事業	16,797	16,797		関係機関・団体で構成された岩見沢市有害鳥獣対策協議会などと連携を図り、有害鳥獣による農業被害の防止や軽減に向けた対策を推進する。
	多面的機能支払・環境保全向上対策事業	687,438	687,438		農業者の地域共同による農業資源保全管理活動や環境保全効果の高い営農活動を支援する。
	用排水施設維持管理事業	590,747	545,747	45,000	排水機場及び農業排水路の適正な管理や緊急性の高いコルゲート管の改修整備を進めるとともに、南利根別排水機場の機能向上に向けた改修を行うなど、農地防災・生産基盤の維持に努める。 ◆元年度追加補正 コルゲート管改修 (5ヵ所) 45,000 千円

(注) ・「※印」の事業は新規・拡充を含む事業
 ・「元年度追加補正」は、元年度補正予算で予算計上し、2年度で執行する事業

部名	事業名	総額	元年度追加補正		事業内容
			2年度当初	元年度追加補正	
経済部	職業能力向上事業	10,734	10,734		<p>岩見沢市職業訓練センターにおいて中小企業が雇用する労働者の職業訓練を実施するとともに、従業員育成に取り組む事業者を支援するなど、労働者の技能・技術の向上を図り、地域産業の発展に努める。</p> <p style="text-align: right;">技能者教育訓練助成金 5,760 千円</p>
	商工金融円滑化事業	1,775,457	1,775,457		<p>開業、事業の拡大、新分野への進出、中心市街地の活性化などを目的とした融資や利子補給、保証料補給を行い、中小企業の円滑な資金調達を図り、中小企業の事業振興、経営基盤の強化と安定化を促進する。</p>
	創業支援事業	12,500	12,500		<p>「創業支援事業計画」に基づき、関係団体と連携して、相談窓口、創業塾を開催するとともに、事業拡大や後継者対策に取り組む企業への支援を進めることで、雇用の増加や地域経済の活性化を促進する。</p>
	プレミアム付建設券発行支援事業	65,000	65,000		<p>経済団体や建設業団体などが主体的に取り組むプレミアム付建設券の発行を支援することで、市内建設業の受注機会確保及び持家に居住する世帯の定住促進を図り、地域経済の好循環を促進する。</p>
	中心市街地活性化対策事業	34,969	34,969		<p>「まちなか活性化計画」に基づき、中心市街地活性化協議会や商工業者などと連携を図り、官民協働による賑わいの創出、商店街の魅力向上に取り組む。</p>

(注) ・「※印」の事業は新規・拡充を含む事業
 ・「元年度追加補正」は、元年度補正予算で予算計上し、2年度で執行する事業

Ⅲ. 主要・新規の事務事業

令和2年度 主要・新規の事務事業

(単位 千円)

部名	事業名	総額	事業内容	
			2年度当初	元年度追加補正
経済部	ポルタビル利用促進事業	134,856	134,856	中心市街地の核施設、「であえーる岩見沢」の交流空間などを活用して集客力をさらに高め、滞在時間の延長や集客効果を周辺商店街へ波及させるよう努めるとともに、計画的な修繕を実施し、施設の長寿命化や安全性、利便性の向上を図る。
	観光振興戦略推進事業	13,895	13,895	「観光振興戦略」に基づき、地域資源を活かした着地型旅行商品や特産品の開発、岩見沢市観光協会の販売力の強化による稼ぐ力の醸成、メープルロッジの観光拠点化を進め、観光の振興を図る。
	ふるさと毛陽地域振興事業	56,311	56,311	メープルロッジ等の各施設の維持管理及び指定管理者による施設の運営を行うとともに、独自の旅行商品やアクティビティの充実に向けサービスハットの改修に取り組み、毛陽地域における交流人口及び観光客の増加による地域の振興と活性化を図る。
	※北村温泉施設整備事業	500,000	500,000	【新規】 いわみざわ北村温泉施設の老朽化設備の更新とともに温泉の魅力向上を高める改修を行い、地域の憩いの場の充実、また観光客の増加及び収益の向上に取り組み、北村地区及び地域経済の活性化を図る。
建設部	除排雪事業	1,432,300	1,432,300	冬期間における市民の安全・安心な暮らしを確保するため、効率的な除排雪、直轄機動班による臨機応変な拡幅作業、地域自主排雪への支援など本市独自の施策を継続するとともに、ICTを活かした先進的な除排雪作業の取組みを進める。 車道除雪延長 L=969.3km 歩道除雪延長 L=140.2km

(注) ・「※印」の事業は新規・拡充を含む事業
 ・「元年度追加補正」は、元年度補正予算で予算計上し、2年度で執行する事業

部名	事業名	総額	元年度追加補正		事業内容
			2年度当初	元年度追加補正	
建設部	道路新設改良事業	1,774,700	1,774,700		<p>快適な住環境づくりの一環として、現況の損傷程度や地域からの要望に基づいた道路の改良舗装や防塵処理、側溝整備を行うほか、橋梁補修工事による長寿命化を進めるとともに、積極的な道路照明灯のLED化に取り組む。</p> <p>道路改良舗装 交付金対象路線：大和上幌向線 その他の路線：21路線 橋梁補修：3橋 道路照明灯LED化、防塵処理、側溝整備ほか</p>
	まちづくり推進事業	4,965	4,965		<p>都市計画マスタープラン等に掲げている都市づくりの施策を推進するとともに、都市計画用途地域や都市計画道路等の見直しを進める。 公共サイン等の適正な維持管理、更新を進める。</p>
	駅前通整備促進事業	7,139	7,139		<p>北海道が進めている駅前通の整備が完了するにあたり、街並み景観に配慮した沿道街区整備のさらなる促進を図るとともに、地元組織の活動について支援を強化する。</p>
	ばらのまちづくり推進事業	11,526	11,526		<p>道内最大規模のバラ園である「いわみざわ公園バラ園」を核としたバラのまちづくりを進める。</p> <p>市民団体との協働によるバラ街道の管理 バラ愛好家などの活動支援 バラの育成管理に関する知識の普及と人材の育成</p>

(注) ・「※印」の事業は新規・拡充を含む事業
 ・「元年度追加補正」は、元年度補正予算で予算計上し、2年度で執行する事業

部名	事業名	総額	2年度		事業内容
			当初	元年度追加補正	
建設部	公園造成事業	100,512	100,512		老朽化した公園施設の計画的な更新を進める。 都市公園長寿命化対策 改築更新 (鳩が丘公園・かぜの子公園 ほか)
	利根別原生林保全事業	201,000	201,000		利根別原生林の保全・活用を進める。 大正池の復旧を進めるため、取水施設及び周辺施設の整備を行う。
	街路事業	176,500	165,500	11,000	都市計画マスタープランにおいて、地域間連携ルートの役割を担う東17丁目通について、計画的に整備を進める。 舗装工・のり面工ほか 140,500 千円 ◆元年度追加補正 植栽工 11,000 千円
	※市営住宅建設事業	186,610	132,610	54,000	老朽化した市営住宅の計画的な建替え及び修繕、除却を行い、より良い住環境の維持と適切な戸数管理を進める。 【新規】 市営住宅建設事業 6条中央団地 基本設計・地質調査・用地測量 35,287 千円 ストック総合改善工事 美園団地 2棟32戸 屋根・外壁改修 72,340 千円 既存団地除却事業 美流渡栄団地 3棟10戸 14,759 千円 ◆元年度追加補正 既存団地除却事業 志文団地 10棟40戸 54,000 千円

(注)・「※印」の事業は新規・拡充を含む事業
・「元年度追加補正」は、元年度補正予算で予算計上し、2年度で執行する事業

部名	事業名	総額	元年度追加補正		事業内容
			2年度当初	元年度追加補正	
建設部	※ 民間住宅耐震改修等助成事業	4,560	4,560		旧耐震基準で建築された木造住宅やブロック塀の耐震診断及び耐震改修等を行う者に対し、費用の一部を助成する。 木造住宅の耐震診断及び耐震改修助成 1,240 千円 【拡充】 木造住宅の建替えに伴う除却助成 2,000 千円 ブロック塀の耐震診断及び除却・建替え・改修助成 1,320 千円
	教育情報システム化推進事業	23,099	23,099		ICTを活用した教育の情報化を推進するとともに、教育情報の積極的な提供、並びに登下校時における児童の安全・安心の確保に努める。
	学び・心はぐくむ学校活動支援事業	11,848	11,848		子どもが輝く岩見沢の教育づくりを推進するため、学力向上に関する取組みや農業などの体験活動など、各学校が創意工夫のもとで企画立案する活動及び各学校における地域ボランティアと連携した活動を支援する。
	特別支援教育推進事業	47,513	47,513		心身に障がいを持つ児童生徒及び特別な教育的支援を必要とする児童生徒の自立と社会参加に向けた、適切な就学支援を行う。
	教育指導振興事業	7,454	7,454		新しい時代を拓く児童生徒の生きて働く学力の確実な定着及び心豊かで健全な成長を促す教育指導の充実を図り、「子どもが輝く岩見沢の教育づくり」を推進する。
※	コミュニティ・スクール促進事業	960	960		【新規】 地域住民や保護者が子どもの教育に対する課題・目標を共有し、学校運営に参画するコミュニティ・スクールの拡大を推進する。

(注) ・ 「※印」の事業は新規・拡充を含む事業
 ・ 「元年度追加補正」は、元年度補正予算で予算計上し、2年度で執行する事業

Ⅲ. 主要・新規の事務事業

令和2年度 主要・新規の事務事業

(単位 千円)

部名	事業名	総額	元年度		事業内容
			2年度当初	追加補正	
教育部	教育支援センター事業	18,992	18,992		教育支援コーディネーターを相談窓口とし、関係機関と連携しながら、スクールソーシャルワーカー、特別支援教育専門員、スクールカウンセラースーパーバイザー、医療アドバイザーによる教育相談や、登校支援指導員による登校支援を行い、児童生徒、保護者、学校等を支援する。
	学力向上対策事業	3,401	3,401		子どもたちが自らの可能性を開花させ、人間として豊かな成長を遂げ、自己実現を図る確かな学力の定着を目指して、土曜・英検学習会、囲碁授業、土曜キッズ英会話を実施する。
	※ 教育研究所運営事業	17,188	17,188		<p>岩見沢市における教育上の諸課題を的確に把握し、その進歩改善のための調査・研究等の推進と充実に努め、地域・大学との連携事業の拠点として事業を推進する。</p> <p>また、タブレット機器を活用した授業づくりの研究を進め、児童生徒の情報活用能力の育成及び教員のICT活用指導力の向上を目指す。</p> <p style="text-align: right;">【新規】 ICT教育環境整備事業 900 千円</p>
	オリンピック・パラリンピック推進事業	6,167	6,167		<p>2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催に向け、国内外の競技団体の合宿誘致や合宿受入れの取組みを進めるとともに、障がい者スポーツに対する市民の理解と関心を高め、誰もが適性に応じてスポーツを楽しめるまちづくりを進め、地域スポーツの振興を図る。</p> <p style="text-align: right;"> 合宿誘致活動（旅費、消耗品費） 467 千円 パラリンピック合宿受入事業補助金 5,200 千円 アダプテッドスポーツ体験事業補助金 500 千円 </p>

(注) ・「※印」の事業は新規・拡充を含む事業
 ・「元年度追加補正」は、元年度補正予算で予算計上し、2年度で執行する事業

Ⅲ. 主要・新規の事務事業

令和2年度 主要・新規の事務事業

(単位 千円)

部名	事業名	総額	2年度		事業内容
			当初	元年度追加補正	
教育部	健康・スポーツ振興事業	13,532	13,532		市民の誰もが気軽にスポーツに親しめる機会の充実に図るとともに、各種スポーツ団体の活動をはじめ、全国大会等の出場やオリンピック・パラリンピックを目指す強化指定選手等の活動を支援する。 また、メープル小学校において放課後の体育館等を活用し、地域スポーツクラブと連携した児童対象のスポーツ教室を行う。
	子ども・子育て支援事業	11,564	11,564		「第2期岩見沢市子ども・子育てプラン」に基づき、子育て短期支援や産前産後ヘルパー、ファミリー・サポート・センター事業などを実施することにより、子どもが健やかに成長し、安心して子育てができる環境づくりに努めるとともに、子ども・子育て会議を運営し、プランの進行管理を行う。
	子育て総合支援センター事業	19,804	19,804		「第2期岩見沢市子ども・子育てプラン」に基づき、子育て総合支援センターを中心に子育てに関する相談・助言等や親子の交流事業を実施するほか、子ども発達支援センター事業を実施し、関係機関と連携を図り、早期発見・早期療育を含めた総合的な子育て支援を行う。
	あそびの広場運営事業	32,042	32,042		であえーる岩見沢内のこども・子育てひろば「えみふる」にある「あそびの広場」を管理運営する。
	※ 児童厚生施設運営事業	68,198	68,198		地域における子育て支援拠点として、市内13の児童館等を運営し、児童に健全な遊びを与え、健康の増進と情操を豊かにするとともに、地域団体やサークル等の育成助長を図る。 【新規】 地域見守り事業委託料 3,095 千円

(注) ・ 「※印」の事業は新規・拡充を含む事業
 ・ 「元年度追加補正」は、元年度補正予算で予算計上し、2年度で執行する事業

部名	事業名	総額	2年度	元年度	事業内容
			当初	追加補正	
教育部	※ 青少年育成事業	4,364	4,364		青少年が自らの意志で自立し、社会参加していくことができるよう、少年の主張大会や子ども会活動を実施するほか、学習や体験活動機会の提供の充実を図るため、団体等に補助を行う。 【新規】 地域子ども体験活動補助金 500 千円
	留守家庭児童対策事業	122,939	122,939		児童館をはじめ、小学校や地域施設等21か所で放課後児童クラブを設置運営し、小学校1年生から6年生までの留守家庭児童の健全育成を図る。 また、民営クラブ1か所に補助を行う。
	保育所入所運営事業	1,517,501	1,517,501		認可保育所の運営費を負担するとともに、延長保育などの特別保育事業を実施する。 また、地域型保育事業の実施により、0歳児から2歳児までの受入れ枠を拡大する。 そのほか、小学校3年生の子から数えて第3子目以降及び同時入所の第2子に係る保育料を無料とするとともに保育料基準額表を減額及び細分化し、保護者負担を軽減する。 減額となる保育料 102,886 千円
	栗沢認定こども園運営事業	67,337	67,337		保育と幼児教育を一体的に行う栗沢認定こども園の運営管理を行う。
	病児・病後児保育運営事業	17,577	17,577		子どもの病気の回復期まで、保護者が仕事等により家庭で保育ができない場合に専用施設で一時的に保育を行う。 病児 岩見沢市立病児保育施設（単独施設） 病後児 岩見沢ひがし認定こども園病後児ルーム（保育所型）

(注) ・「※印」の事業は新規・拡充を含む事業
 ・「元年度追加補正」は、元年度補正予算で予算計上し、2年度で執行する事業

部名	事業名	総額	元年度		事業内容
			当初	追加補正	
教育部	※ 保育・教育人材確保事業	3,000	3,000		【新規】 保育士、幼稚園教諭の確保のため、新規学卒者採用に係る市内法人立保育園等への支援を行う。
	幼稚園入所運営事業	536,263	536,263		子ども・子育て支援新制度に移行した私立幼稚園に対する運営費を負担する。また、子ども・子育て支援法の改正により幼稚園に入園する満3歳から5歳までのすべての子どもの保育料を無償とする。
	ブックスタート事業	1,756	1,756		赤ちゃんと保護者を対象に、一緒に絵本を開く楽しさを伝えるとともにブックスタートパックを贈るほか、絵本の読み聞かせ等、フォローアップ事業の充実を図る。
栗沢支所	栗沢文化交流施設整備事業	780,000	780,000		栗沢市民センター・福社会館と栗沢文化センターの施設機能を統合し、新たな施設として、栗沢市民センター敷地に、地域コミュニティ活動や文化活動ができる交流施設機能と避難所機能を併せ持つ施設の整備を行う。

(注) ・ 「※印」の事業は新規・拡充を含む事業
 ・ 「元年度追加補正」は、元年度補正予算で予算計上し、2年度で執行する事業

部名	事業名	総額	2年度		事業内容
			当初	元年度追加補正	
水道部	桂沢水道企業団出資金	94,100	94,100		<p>平成28年度から開始された桂沢浄水場更新事業に伴い、桂沢水道企業団の構成市として、一般会計から企業団に対し出資を行う。</p> <p>事業主体 桂沢水道企業団</p> <p>工期 第1期工事 平成28年度～令和2年度 第2期工事 令和3年度 ※令和2年度末供用開始予定</p>
	送水管・配水管整備事業 (水道事業会計)	818,036	818,036		<p>送水管整備 L= 460m (φ 500mm)</p> <p>配水管整備 L=4,080m (φ 50mm ~ φ 600mm)</p> <p>事業統合関連 L= 650m (φ 250mm)</p>
	下水道築造事業 (下水道事業会計)	832,245	832,245		<p>普及促進事業 公共樹設置 34か所</p> <p>改築事業 南光園処理場 沈砂池設備改築 南光園処理場 自家発電設備改築 南光園処理場 水処理施設改築 幌向終末処理場 監視制御設備改築</p>

(注)・「※印」の事業は新規・拡充を含む事業
・「元年度追加補正」は、元年度補正予算で予算計上し、2年度で執行する事業

Ⅲ. 主要・新規の事務事業

令和2年度 主要・新規の事務事業

(単位 千円)

部名	事業名	総額	2年度		事業内容						
			当初	元年度追加補正							
市立病院	医療機械器具等整備事業 (病院事業会計)	159,414	159,414		医療機器の整備を計画的に実施。令和2年度は、循環器用超音波画像診断装置（心エコー）を更新するほか、26品目を整備する。 <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>総合病院</td> <td>21 品目</td> <td>150,000 千円</td> </tr> <tr> <td>栗沢病院</td> <td>5 品目</td> <td>9,414 千円</td> </tr> </table>	総合病院	21 品目	150,000 千円	栗沢病院	5 品目	9,414 千円
	総合病院	21 品目	150,000 千円								
栗沢病院	5 品目	9,414 千円									
	新市立総合病院建設事業 (病院事業会計)	27,000	27,000		新病院建設に向けて、基本計画策定の取組みを進める。						
消防事務組合	消防車両整備事業	31,800	31,800		安全・安心な市民生活を確保するため、計画的に消防車両を更新する。 <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>資機材搬送車（岩見沢署）</td> <td>1 台</td> <td>31,800 千円</td> </tr> </table>	資機材搬送車（岩見沢署）	1 台	31,800 千円			
資機材搬送車（岩見沢署）	1 台	31,800 千円									

(注) ・「※印」の事業は新規・拡充を含む事業
 ・「元年度追加補正」は、元年度補正予算で予算計上し、2年度で執行する事業

令和2年第1回定例会補正予算の概要 (国の令和元年度補正予算【第1号】等関連)

補正予算のポイント

災害からの復旧・復興と安全・安心の確保、経済の下振れリスク克服への重点支援、未来への投資と経済活力の維持・向上等、及びその他喫緊の課題への対応に関連する事業等、国の令和元年度補正予算(第1号)に計上された地方創生の推進強化、生産性向上を支えるインフラの整備などの投資的経費に係る事業及びSociety5.0時代を担う人材投資のための事業を令和元年度一般会計及び特別会計高等学校費補正予算に計上

※令和2年度へ一部繰越明許

補正予算(投資的経費)の内容 補正予定額 1,291,300 千円

国の令和元年度補正予算【第1号】の繰越分 1,246,300 千円

【一般会計】

- 北村温泉施設整備事業 486,700 千円 ~北村温泉施設の改修工事【当初予算重複計上】
- 街路事業 78,600 千円 ~東17丁目通整備事業の前倒し【当初予算重複計上】
- GIGAスクールネットワーク構築事業 651,000 千円 ~GIGAスクール構想に対応したネットワーク環境整備

【特別会計高等学校費】

- 学校管理事業 30,000 千円 ~GIGAスクール構想に対応したネットワーク環境整備

国の令和元年度当初予算の繰越分 45,000 千円

【一般会計】

- 用排水施設維持管理事業 45,000 千円 ~農地耕作条件改善事業によるコルゲート管改修工事

消費税率引上げに伴う地方消費税交付金増収分の使途について

令和元年10月から消費税率が8%から10%へ引き上げられたことに伴い、地方消費税率が1.7%から2.2%に引き上げられました。

地方消費税率の引上げに伴う地方消費税交付金の増収分は、社会保障施策に要する経費に充てることとされています。

■地方消費税交付金

(千円)

区分	令和元年度	令和2年度	増減
地方消費税交付金	1,663,900	1,872,400	208,500
うち引上げに伴う増収分	713,539	803,000	89,461

■社会保障施策に要する経費

(千円)

項目	令和元年度		令和2年度		増減	
	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源
医療関係	4,155,308	3,287,452	4,306,577	3,438,686	151,269	151,234
介護・高齢者福祉関係	1,540,646	1,424,940	1,614,055	1,494,587	73,409	69,647
子ども・子育て関係	3,758,288	1,339,784	3,801,732	1,263,238	43,444	▲76,546
障害者福祉関係	2,957,730	771,344	3,486,968	821,291	529,238	49,947
貧困・格差対策等関係	3,356,988	716,708	3,333,745	699,647	▲23,243	▲17,061
その他	81,847	60,539	87,111	70,478	5,264	9,939
合計	15,850,807	7,600,767	16,630,188	7,787,927	779,381	187,160

(各項目の主な経費)

- ・医療関係・・・・・・・・・・ 国民健康保険、後期高齢者医療、乳幼児医療などに係る経費
- ・介護・高齢者福祉関係・・・・ 介護保険、軽費老人ホーム、生活支援ハウスなどに係る経費
- ・子ども・子育て関係・・・・ 保育所、幼稚園、児童扶養手当、児童手当などに係る経費
- ・障害者福祉関係・・・・・・ 障害者自立支援給付費などに係る経費
- ・貧困・格差対策等関係・・・・ 生活保護費、DV対策などに係る経費
- ・その他・・・・・・・・・・・・・ 民生委員、社会福祉協議会補助などに係る経費